

六郷

～元気に輝いて～



令和6年度
第25号

2024.6.19

子どもたちの経験を深める、外部講師から教わる体験活動⑥

【4年『水の森』植樹事業への参加】（講師：仙北東森林組合職員の方々）

17日に行われた町の事業（2024七滝「水の森」植樹事業）には、町内の4年生が参加しました。この事業は、15年前から継続して行われているものです。

今年は、これまでの植樹に加え、以前植えた木の近くに、肥料の入った棒状のものを打ち込む「育樹」の作業も行いました。山で木を植える・育てるという経験が初めてという子どもたちでしたが、将来、その木々が美郷町を支える水源の森として機能してくれることを願いながら、熱心に作業することができました。



【子どもたちの声から】

- ・「育樹」ということを初めて知りました。木を育てるための活動を経験できてよかったです。
- ・「植樹」した木が、みんなの役に立ってほしいです。
- ・今回植樹した木の「育樹」を、来年、レインボー学年にやってほしいです。
- ・「育樹」や「植樹」をしてみて、自分たちがお世話した木々が枯れないで元気に育ってほしいと思いました。



社会科で「水はどこから」という勉強をする4年生の子どもたちにとって、地元の水源の森であり、昔から大切にされている七滝山に植樹ができたことは、貴重な経験となりました。今回の経験を生かして、ふるさと六郷の環境の素晴らしさを再確認するとともに、水資源を保全することを自ら実践できるようになってほしいものです。

学校のまわりを歩いてみると……！（3年生）（各学年フィールドワーク②）

今年から社会科の授業が始まった3年生は、学校のまわりを探検し、宅地や商業地、農地の広がりや土地利用について調べてきました。

国道13号線にある歩道橋から「（六郷小の）南側には田んぼが広がっていること」、角六線を北に向かうと「住宅や商店が集まっていること」、小学校から六郷高校や美郷中学校方向の東に向かうと「住宅地が途切れ、田や畑が見られること」などに気付くことができた子どもたち。次々と新しい発見をするたびに、目をキラキラさせていました。

今後は、探検範囲を美郷町に広げる町探検Ⅱをする予定です。地域の様子について、様々な疑問が湧いてきている子どもたちですので、ご家庭で質問等があった際には、知っている範囲で構いませんのでお答えいただければ幸いです。

